

## 安全で充実した夏休み

第5号  
文責  
永野敏夫

1学期が今日で終わり、明日から40日間の夏休みが始まります。夏休みは学校での生活時間の方が長くなりますが、学校生活と違つて、自由に使える時間がたっぷりあります。だからこそ、使い方次第でこの40日が自分自身を高める時間にもなるし、逆に自分を堕落させることもできる時間にもなります。この長い休みがどんな夏休みになるか、それはみなさんの心がけ次第で決まります。今年の夏休みが皆さんにとって自分を高める充実した休みになることを願っています。

事故が報道されていません。事件や事故はいつどこで起るかわかりません。しかし、日頃からきちんと決まりを守り、危険を予測した行動をすることで、事件や事故に巻き込まれることを防ぐことができます。詳しいことは別紙「夏休みの生活」に書かれているので、書かれていることをしっかりと守り、安全な夏休みにしましょう。

計画に従つて生活する  
ことが大切です。  
まず、1日の生活について、起床してから就寝までの生活日課表を作り、その日課表に沿つて生活するようになります。そうならないためには、事前にしっかりと計画を立て、計画に従つて生活することが大切です。

表にまとめておくと、机に座ったときに迷わずすぐに取りかかることができます。計画的に行うことで、無理なく確実に宿題を終えることができます。

日課表にしても学習計画表にしても、無理な計画は続きません。無理のない計画を立て、どうしても続かないようなときは途中で計画を作り替えて構いません。とにかく、気の向くままの生活にだけはならないようにはじめで計画を立てて過ごしてほしいと思います。



普通教育會講習會

7月2日(金)、学校歯科医の森口茂樹先生をお迎えして、歯と口の健康講話を開催しました。講話では、8時運動、歯の役割や歯の構造、歯や口腔の病気、虫歯のしくみ

と虫歯の進行、虫歯予防やフッ化物洗口などについて、わかりやすくお話ししていただきました。特に日頃の寧な歯磨きがとても大切であるとおっしゃっておられました。

## 歯と口の健康講話



年生と2年生を対象年に、西天草分署の消防士をお迎えして、普通救命講習会を開催しま

講習会では、胸骨によくAEDの使い方を教わった。心肺蘇生法のやり方について学んだ後、実際に人体模型を使って心肺蘇生法を体験しました。特に「胸骨」を押しはしつかり力を入れて、絶え間なく押しながら、しなければならない構造で、生徒たちは結構疲れてしまったようだ。しかし、心肺蘇生が必要な場面に遭遇したとき、

実際に心肺蘇生を行なうことは勇気がいることは間違いない。しかし、勇氣が人命を救うにつながることになるということを理解しておきたい。生徒たちは学ぶところが多かった。

虫歯はそのままにしておいても自然には治りません。時間が経つほど悪化すれば経つほど悪化すれば、悪化すれば痛みが増し治療にも時間がかかります。日頃からの予防に努めると共に、虫歯と診断されたら即ちに治療に行くようしましょう。

